

連結財務諸表(要旨)

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当連結 会計年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日
営業収益 Point ①	1,793,618	1,800,668
営業原価	1,654,085	1,687,241
営業総利益	139,532	113,426
販売費及び一般管理費	62,333	53,341
営業利益 Point ②	77,199	60,085
営業外収益	8,618	4,184
営業外費用	1,487	6,203
経常利益	84,330	58,066
特別利益	18,038	2,207
特別損失	21,328	3,458
税金等調整前当期純利益	81,040	56,815
法人税等	23,968	11,393
当期純利益	57,071	45,421
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	1,115	△476
親会社株主に帰属する当期純利益 Point ③	55,956	45,898

ポイント解説

Point ①

営業収益は、成長が続くEC領域への対応により荷物の取扱数量が増加したことや、お客様の物流最適化に注力したことなどにより、前連結会計年度に比べ70億50百万円増加し1兆8,006億68百万円となりました。

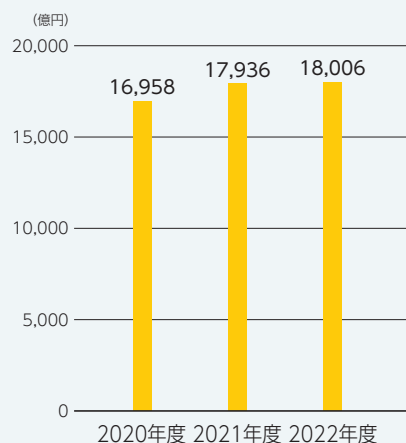
Point ②

営業利益は、時給単価や燃料単価、電気代などの上昇に加え、拡大するECの需要に対応するために構築しているEC物流ネットワークと既存ネットワークにおける輸配送オペレーションの適正化を進める途上にあることなど、中期経営計画「Oneヤマト2023」の推進に伴う費用が増加したことなどにより、前連結会計年度に比べ171億14百万円減少し600億85百万円となりました。

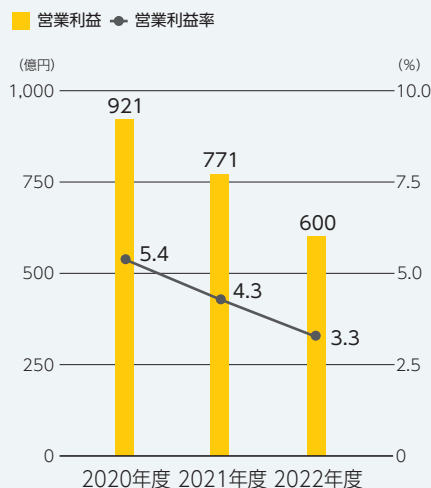
Point ③

親会社株主に帰属する当期純利益は458億98百万円となり、前連結会計年度に比べ100億57百万円の減益となりました。

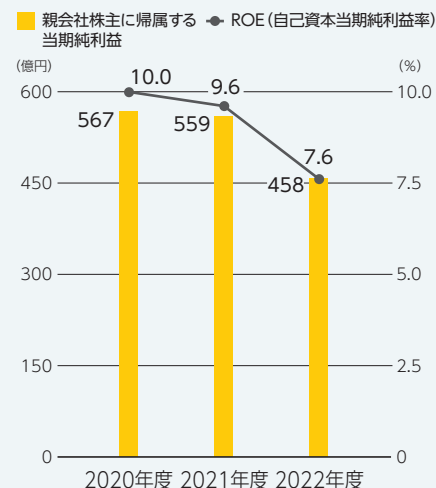
営業収益



営業利益／営業利益率



親会社株主に帰属する当期純利益／ROE(自己資本当期純利益率)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2022年3月31日	当連結 会計年度 2023年3月31日
【資産の部】		
流動資産	480,844	484,647
固定資産	606,010	622,940
有形固定資産	429,878	443,017
無形固定資産	45,646	43,759
投資その他の資産	130,484	136,163
資産合計 Point ①	1,086,854	1,107,587
【負債の部】		
流動負債	352,807	344,758
固定負債	135,814	146,398
負債合計 Point ②	488,621	491,156
【純資産の部】		
株主資本	578,991	598,130
その他の包括利益累計額	11,551	12,250
非支配株主持分	7,690	6,049
純資産合計 Point ③	598,233	616,430
負債純資産合計	1,086,854	1,107,587

ポイント解説

Point ①

資産合計は、リテール部門を中心に拠点の新設をしたことや車両運搬具を取得したことで有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ207億32百万円増加し1兆1,075億87百万円となりました。

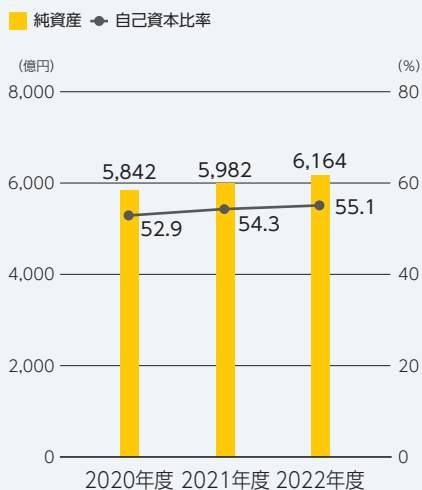
Point ②

負債合計は、短期借入金が減少したものの、リース債務が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ25億35百万円増加し4,911億56百万円となりました。

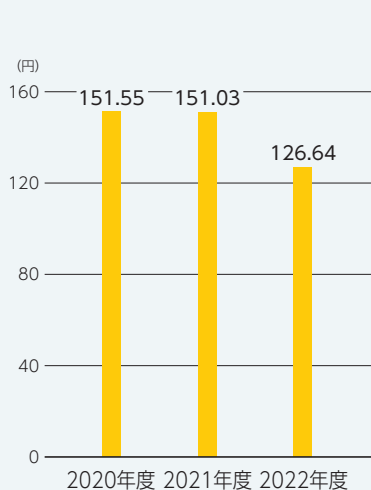
Point ③

純資産は、剰余金の配当を実施したことおよび自己株式を取得したものの、親会社株主に帰属する当期純利益が458億98百万円となったことなどにより、前連結会計年度末に比べ181億96百万円増加し6,164億30百万円となりました。

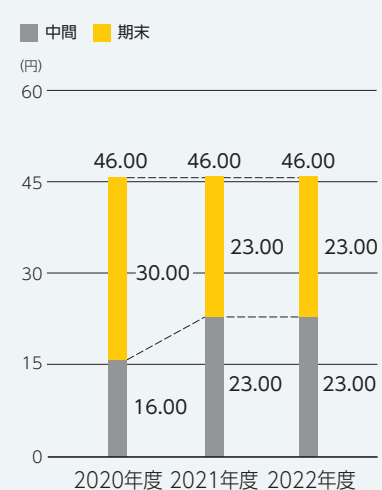
純資産／自己資本比率



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



連結財務諸表(要旨)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2021年4月1日～ 2022年3月31日	当連結 会計年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 1	52,016	89,953
投資活動によるキャッシュ・フロー Point 2	△58,943	△49,420
財務活動によるキャッシュ・フロー Point 3	△54,456	△38,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	701	705
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60,681	2,621
現金及び現金同等物の期首残高	241,284	180,603
現金及び現金同等物の期末残高	180,603	183,225

より詳細な連結財務諸表につきましては、
ホームページ(<https://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス IR

検索

ポイント解説

Point 1

営業活動によるキャッシュ・フローは、未払消費税等の増減額が増加したこと、法人税等の支払額および税金等調整前当期純利益が減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ収入が379億37百万円増加し899億53百万円の収入となりました。

Point 2

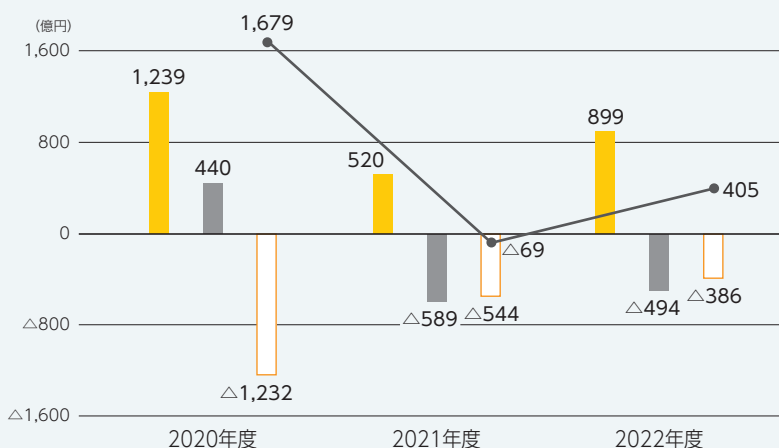
投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が減少したものの、前連結会計年度において、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出があったことおよび有形固定資産の取得による支出、その他の支出が減少したことなどにより、前連結会計年度に比べ支出が95億22百万円減少し494億20百万円の支出となりました。

Point 3

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度において長期借入金を返済したことなどにより、前連結会計年度に比べ支出が158億38百万円減少し386億17百万円の支出となりました。

キャッシュ・フロー

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー □ 財務活動によるキャッシュ・フロー
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー ● フリー・キャッシュ・フロー



自己株式の 取得と消却について

当社は、株主価値向上のため、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策として、2023年5月から2024年2月の期間で自己株式を約500億円、2,200万株取得するとともに、2024年3月に同株式を消却予定です。